

Q

&

A

Q 潜伏期間はどのくらいですか？

A 新型インフルエンザでははっきりしていませんが、これまでのインフルエンザは18～72時間と言われています。また、症状の出る1日前から発症後7日間ぐらいは、周りの人に感染させることがあります。

Q 新型インフルエンザにかかるような症状が出ますか？

A これまでの季節性インフルエンザと同じような症状で、発熱、咳、のどの痛み、悪寒、倦怠感などです。また、吐き気や下痢などの症状を訴える場合もあります。

さらに、他の感染症にかかっていたり持病があったりすると、感染したときに症状が重くなることもあります。

Q 感染した場合、治療することが義務付けられるのですか？

A 感染症法では、国内で感染していることが確認された場合、入院して治療を受けること、また、感染している可能性が高い同居者や感染者と接触したかなどは、外出自粛を要請され、保健所に健康状態を報告すること

が定められています。

今回の新型ウイルスは、鳥インフルエンザウイルスに比べて毒性は弱いとされていますが、感染力が強く、感染を繰り返すうちに性質が変化していくことが考えられます。症状が軽いからと自分で判断して、直接医療機関に行くと、周りに感染を広げることがあります。

Q マスクを付けることで、どのような効果があるんですか？

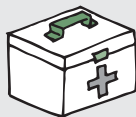
A インフルエンザは、感染したかたの咳やくしゃみなどのしぶきと一緒に空中に放出されたウイルスを吸い込んで感染します（飛沫感染）。また、ウイルスが付着した場所に触れた手で、粘膜・結膜を通じて体内に入り込んで感染することもあります（接触感染）。大切なのは「手を洗う」ということです。また、十分な休養と栄養を取って体力を維持し、健康な状態を保つようにしましょう。

Q 流行した場合、市などの自治体では、食料やマスクなどの物資を配布してくれるんですか？

A 市では医薬品などの確保に最大限努めますが、マスクなどを全市民に用意することは、現実的に困難であることをご理解ください。万が一に備えて必要と思われる物は、各自で準備しておきましょう。

■医薬品

- ☐ 持病の処方薬
- ☐ 常備薬（痛み止め、胃薬など）
- ☐ ばんそうこう
- ☐ ガーゼ・コットン
- ☐ 解熱鎮痛剤（アセトアミノフェンなど）
※成分によってはインフルエンザ脳症を助長する恐れがあるため、薬剤師に確認を。



■感染防止用品

- ☐ 市販している不織布製の使い捨てマスク（一人当たり20～25枚）
- ☐ ゴム手袋
- ☐ 消毒用アルコール
- ☐ 体温計
- ☐ 水枕・氷枕



■備蓄品チェックリスト（最低2週間分を用意）

備蓄品は一例です。このほかに必要なものを家族で話し合ってみましょう。

■食料品（長期保存が出来るもの）

- ☐ 米、切りもち
- ☐ 乾パン
- ☐ 乾めん類（そば、うどんなど）
- ☐ インスタント食品、レトルト食品
- ☐ 缶詰
- ☐ 冷凍食品
- ☐ 菓子類
- ☐ 飲料水
- ☐ ペットボトル、缶入り飲料



■日用品（災害時にも便利です）

- ☐ ティッシュペーパー・トイレットペーパー
- ☐ ラジオ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 乾電池
- ☐ 洗剤・せっけん
- ☐ シャンプー・リンス
- ☐ 生理用品
- ☐ キッチン用ラップ・アルミホイル

